

中高一貫教育だより

～広尾の子どもは広尾で育てる～

第66号

令和7年
3月発行

発行者
広尾町中高一貫教育推進委員会

《中高一貫》 進路講話



〈中学生だった頃の自分へ〉

2月3日（月）、広尾中学校体育館にて「中高一貫進路講話」が開催され、「中学生だった頃の自分へ」をテーマに4名の広尾高校の生徒が講話を行いました。

吉田友也さんは、自身の高校生活3年間を振り返り、チャンスの神様を全力でつかまえていった経験と、実際に前髪しかないハンドメイドのチャンスの神様人形を駆使した、見所満載の講話を披露しました。

飯野真穂さんは、大好きなお菓子作りを通して、苦手なことへの向き合い方について、自分の経験とそのときの気持ちを詳細に話していました。特に、好きなことのために苦手なことと正面から向き合い克服し、自分に自信を持つことができ、保護者との関係改善と進路実現へと繋がる話には中学生たちも引き込まれていました。

大瀧悠真さんは、中学生の時には引込み思案だった自分が、高校生になって勉強や部活、そして生徒会での活動を通して積極的になれた経緯と、不安な気持ちのなかでも失敗を恐れず挑戦することの重要性を話していました。

川村一華さんは、周囲から自分がどう見られているのかばかりが気になって自分に嘘をついていた中学時代の話と、気にしないのではなく割り切ること、その上で人間関係が改善されていき、進路選択にも繋がったことなどを話していました。

講話を行った4名のうち3名は、3年前に中学生としてこの場所で講話を聞いていました。この場所で気付きの種が蒔かれ、数年後に芽が出て花を咲かせるのは今の中学生たちが3年後に高校生へと成長したときになります。広尾町中高一貫教育の1年間の取り組みの締めとして、3年越しで循環する価値を作り出す教育として、継続していければと考えています。

SCCの記録

SCCとは、Secondary Collaborated Class の略称です。これは、多様な能力や様々な適性を持つ広尾の子どもたち一人ひとりに応じた「きめ細かな学習指導」を通して「基礎・基本の確実な定着」を図っていくために、中学校と高校が連携した合同授業や出前授業、TT、チューター学習などを行うものです。

国語

国語科では、例年通り3回の漢字検定の合同実施を行いました。今年度は、第1回16人・第2回12人・第3回16人の中学生が漢字検定を受験しました。タブレットやスマートフォンにより漢字を書く機会が少なくなっている中でも、意欲的に検定に挑戦してくれました。

今後、中学校1年生を対象に高校の青木教諭による書写の授業を実施予定です。楷書と行書の比較を通して、高校の書道で習う中国の古典の文字の特徴を味わうことのできる充実した時間になればと思います。



数学

中学3年生の学力テスト総合Cに向け、11月に広尾高校の石井教諭、粒針教諭が広尾中学校にて学習をサポートする授業を行いました。学力テストの対策問題に各自で取り組み、複数の数学科教員で個別に指導しました。つまりくところは生徒一人ひとり異なりますが、多くの教員が教室内にすることで、きめ細かい指導を行なえたと考えています。中学生も自らの弱点を克服するため、生徒同士や教員に積極的に質問していました。また、普段接点の少ない高校の教員と中学生がコミュニケーションをとる場面も多く見られ、中高のつながりを強める貴重な機会となりました。今後も、定期的に中学生の学習をサポートする機会を設けていきます。

社会

12月11日（水）に広尾中学校1年生を対象に、地理分野「南アメリカ州の気候」の単元においてSCCを実施しました。本授業は、中学校の平山教諭が主体となって進行し、高校の富田教諭がTTとしてサポートする形で行われました。生徒たちはより深く学習内容を理解し、南アメリカ州の気候に関する知識を表現する力を養うことができました。

理科

12月23日（月）に広尾高校1年生を対象に、化学基礎「酸と塩基」の単元においてSCCを実施しました。高校の関尾教諭がメインで授業を進行し、中学校の山根教諭がTTとしてサポートする形での実施となりました。生徒の個別的な要望に応える形での授業とすることができました。



英語

11月26日（火）、広尾高校の船越教諭・東教諭が広尾中学校3年生を対象にSpeaking指導を行いました。高校の教諭と1対1で、好きな科目や将来の夢などの応答を英語で実践する授業です。英語検定でも活用できるように“May I come in?”での入室をはじめとし、ALL ENGLISHで、英語検定3級程度のレベルを意識して行いました。中学生は、最初は英語での受け答えに不安そうな様子でしたが、実際に話してみると笑顔で受け答えしてくれました。英語でスラスラと答えている生徒はもちろん素晴らしいですが、自分の言いたいことがなかなか英語で出てこなくても、知っている単語を組み合わせで伝えようとする意識が印象的でした。今回のSCCを通じて、英語でコミュニケーションを取ることで、更には英語検定等の資格取得へのモチベーションになれば嬉しく思います。



保健体育



12月11日（水）3・4校時、広尾高校体育館において、広尾中学校2年生と広尾高校3年生の科目「生涯スポーツ」選択者の合同授業が2時間にわたって実施されました。内容は、鉄棒（低鉄棒・高鉄棒）とマット運動の2つに分かれ、高校生が中学生に技の指導を行いました。今回の授業を通して、高校生は中学生に「体を使うことの楽しさを実感してもらう」ことが達成できるように、積極的にコミュニケーションを

取り教え合う姿が見られました。また、中学生は久しぶりの低鉄棒や初めて挑戦する高鉄棒に触れ、高校生にコツや補助をしてもらいながら、「できた！」を実感できている生徒がたくさんいました。マット運動では、技がキレイに見えるポイントやできるようになるコツを教わり、楽しく取り組むことができました。



家庭科

7月11日（木）と7月18日（木）の2回、広尾中学校2年生の家庭科の授業で、高校教諭がTTに入り、被服実習のサポートを行いました。一人ひとり理解度や進捗状況が異なる被服製作の実習では、生徒同士の助け合いや、複数の教員の目によるきめ細やかな指導が重要になります。ミシンの不調や扱い方などの対応も含め、TTによる授業を実施したことで、いづらかフォローができたと感じています。この後、1年生の調理実習のサポートも実施する予定です。



中高連携 生徒の活動から

①交通安全街頭啓発運動 7月23日（火）

毎年恒例となりつつあるこの活動も、昨年度から中高同日開催としていました。昨年の反省をもとに今年度も同様に同日開催にし、ドライバーさんへ安全運転の呼びかけと共に中学生・高校生の交流もすることができました。広尾警察署で用意していただいたパンフレットと学生が作成した交通安全を呼びかける用紙を手渡しで配布することができました。

②中高一貫合同清掃 9月17日（火）

他の中高連携事業では、生徒会や一部の学年が交流していますが、この合同清掃はお互いの全校生徒が集まり同時に活動を行うので、他の行事以上に生徒間の交流が増えます。広尾高校の生徒がリーダーシップを発揮し、中学生に対してアイスブレイクとして様々なアクションを起こしてくれました。清掃場所は学校周辺と楽古川周辺です。清掃を終えて、生徒たちからの感想として多かったのが、「たばこのポイ捨てが多い」という意見でした。

清掃活動を通じて自分たちだけでなく、地域住民全体へ美化の意識が広がればと思います。



令和6年度 北海道広尾高等学校 3学年の進路状況

令和7年2月12日現在 3年生在籍 男子:16名 女子:12名 計:28名

<就職志望者 9名> 決定者数:男子8名 女子1名 計9名

進路区分	希望者数			決定者数			内 定 先
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
就職町内	4	4	0	4	4	0	とかち飼料株式会社、広尾町森林組合 有限会社広尾衛生社、農協サイロ株式会社
就職管内	2	2	0	2	2	0	株式会社柳月、株式会社六花亭
就職道内	0	0	0	0	0	0	
就職道外	0	0	0	0	0	0	
公務員	2	2	0	2	2	0	広尾町役場(2名)
自営・その他	1	0	1	1	0	1	家事従事
就職者合計	9	8	1	9	8	1	就職希望者割合 32.1% 内定率 100%

<進学志望者 19名> 決定者数:男子7名 女子10名 計17名

進路区分	希望者数			決定者数			決 定 先
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
4大国公立(文系)	2	2	0	1	1	0	小樽商科大学
4大国公立(理系)	0	0	0	0	0	0	
4大私立(文系)	2	1	1	1	1	0	札幌学院大学
4大私立(理系)	0	0	0	0	0	0	
短大国公立	0	0	0	0	0	0	
短大私立	2	0	2	2	0	2	帯広大谷短期大学 國學院大学北海道短期大学部
看護学校	2	0	2	2	0	2	帯広市医師会附属看護専門学校 北海道看護専門学校
専門・専修学校	11	5	6	11	5	6	札幌調理製菓専門学校、北海道立農業大学校 専門学校札幌ビジュアルアーツ 栗山町立北海道介護福祉学校 北海道芸術デザイン専門学校 専門学校北海道リハビリテーション大学校 帯広コア専門学校、帯広調理師専門学校 札幌ブライダル&ホテル観光専門学校 札幌ほいく専門学校、札幌動物専門学校
進学者合計	19	8	11	17	7	10	進学希望者割合 67.9% 合格率 89.5%

<全 体>

	在籍者数			決定者数			進路決定率
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
合 計	28	16	12	26	15	11	92.9%